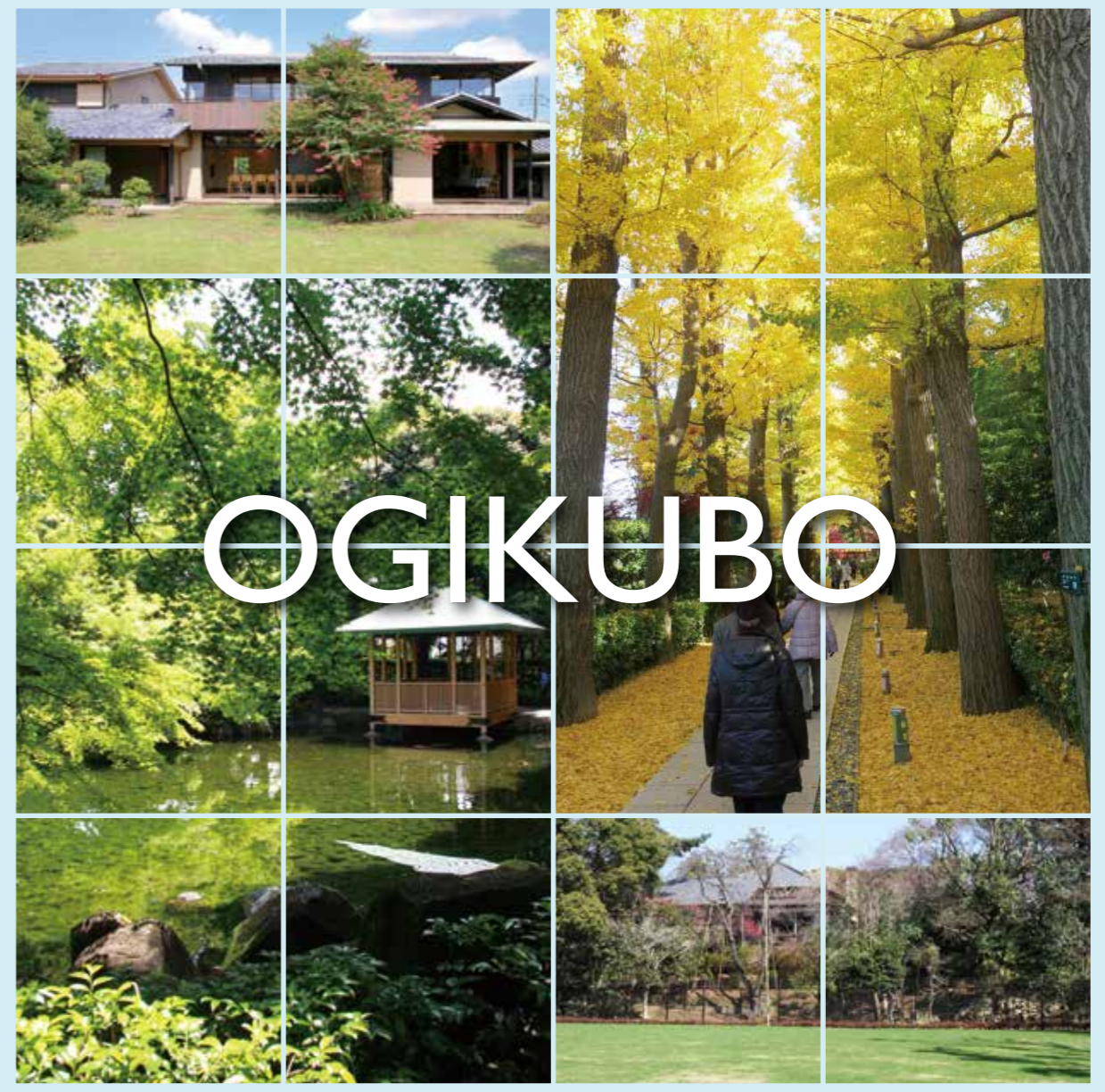


おたしの
おぎくぼ 20号

—平成29年4月～平成31年3月 活動報告—



おたしの
広報誌 おぎくぼ 20号

表紙：角川庭園、荻外荘、大田黒公園
裏表紙：雪の大田黒公園、荻窪2丁目の表示、アンネのバラ、紅葉の大田黒公園、紫陽花、新緑の天沼弁天池、桜の善福寺川沿い

■発行：平成31年3月31日
 ■発行者：荻窪地域区民センター協議会
 東京都杉並区荻窪2-34-20 〒167-0051
 TEL:03(3398)9127
 FAX:03(3398)9128
 メールアドレス:ogikubo-unkyo@fancy.ocn.ne.jp
 ホームページ:http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp

■編集委員 中澤 一郎
 松井 和男・牧 三千男
 加藤 美子・武藤 由美
 鈴木 葉子・加藤 俊也
 天海 和彦・平山 真人
 [広報部] 内藤まゆみ・齋藤 昭雄
 横尾 耕一・石井 徹

荻窪地域区民センター協議会

はじめに

「荻窪地域区民センター」は、昭和54年3月に杉並区で最初の地域区民センターとして設立され平成30年で設立40周年を迎え、現在に至っています。

この小冊子『わたしのおぎくぼ』20号は平成29年4月から平成31年3月までの、当協議会が主催した活動や地域の皆さんとの交流を図った活動の報告です。

ご覧いただき、多くの方々に協議会の活動に参加していただけることを願って作成しました。

わたしの おぎくぼ もくじ

はじめに・もくじ

あいさつ	1
荻窪地域区民センター協議会	2
荻窪地域区民センター協議会40年のあゆみ	3
2年間の委員活動(平成29年4月～平成31年3月)	4・5
荻窪地域区民センター・エリアマップ	6・7
地域交流部	8・9
事業企画部	10・11
センターカレッジ部	12・13
広報部	14
総務部	15
会計監事	16
事務局・地域活動係	16
委員OB会	17



荻窪地域施設案内図

荻窪地域区民センター 電話:03-3398-9125

《交通》●荻窪駅南口から徒歩10分
●バス 荻窪駅南口から①③④番
高井戸駅から荻窪駅行き
荻窪4丁目下車、徒歩1分

本天沼区民集会所 電話:03-5310-4633

《交通》●荻窪駅北口から徒歩15分
●バス 荻窪駅北口から③番
中村橋行
練馬行
白鷺一丁目行
阿佐谷営業所行
稲荷横丁下車、徒歩3～4分

あいさつ

「地域につながる活動を」



荻窪地域区民センター
協議会会長

中澤 一郎

荻窪地域区民センター協議会は歴代委員の努力の積み重ねによって、無事、設立40周年を迎えることができました。

しかし、目を外に向けると、この40年間でセンターを取り巻く状況は一変しています。なかでも、少子高齢化の進展は深刻です。センターの講座を見ても、参加者の圧倒的多数を高齢者が占めています。高齢者のニーズに応えることと同時に当協議会では、できるだけ多世代の人々に交流の場を提供したいと考え、さまざまな工夫を凝らしています。昨今では多世代と一緒に楽しむ参加型イベントを企画運営しています。

区民センターの存在と協議会の活動を知ってもらうため、小・中学校の協力を得て、広報誌『わたしのおぎくぼ』を児童、生徒のすべての家庭に配布しています。

また、地域のコミュニティーを育てるという協議会本来の目的を達成するため、今後とも、地域に親しまれている事業を継承しながら、地元の町会、自治会、商店会、新しい地域の関係団体とのネットワーク作りを推進していききたいと思います。

さらに学校や地域の諸団体とコラボし、ときにはセンターの外に出てイベントを開くなど、積極的な取り組みを展開していきたいと考えています。

そのために必要なのが人材です。目下、人材確保のためのネットワークづくりを進めていますが、地域のために何か活動してみたいと思う方がいらっしゃいましたら、「荻窪地域区民センター協議会」委員になって一緒に活動してみませんか!! お待ちしております。

質の高い住宅都市杉並のために



杉並区長

田中 良

冊子『わたしのおぎくぼ』20号の発刊を心からお祝い申し上げます。

貴協議会が、昭和54年に、その前身である荻窪地域区民センター運営協議会として活動を始めてから40年が経過いたします。この間、荻窪地域区民センターと本天沼区民集会所を拠点に、住民同士の交流やふれあいを育む様々な事業を通じて、良好なコミュニティの形成に多大なるご貢献をいただきました。特に近年では小学生を対象にした講談の出前授業、中途難聴者の会の方たちとの協働事業による字幕付き落語鑑賞会の開催など、日本の伝統芸能に触れる事業を展開され、地域の方から高く評価をいただいていると伺っております。今や貴協議会の活動は地域にとって欠かせないものとなっており、これもひとえに歴代の会長をはじめとする委員の皆様の熱意と努力の賜物であると、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

区では、杉並区の将来像と目標を描いた「杉並区基本構想」の実現のため、平成24年に「杉並区総合計画(10年プラン)」を定めました。このたび、基本構想の最終年度である平成33年に向けて、本計画と関連する一連の計画等の改定を行いました。

誰もが住み続けたい、住んでみたいと思う「質の高い住宅都市杉並」の創造のためには区民の方々による参加と協働による地域社会づくりが不可欠であると考えます。

貴協議会におかれましては、今後とも地域活動の継承や地域のさまざまな団体との協働を進め、よりよい地域づくりにご協力くださいますようお願いいたします。

結びに、貴協議会の益々のご発展と委員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

荻窪地域区民センター協議会

協議会の構成と活動

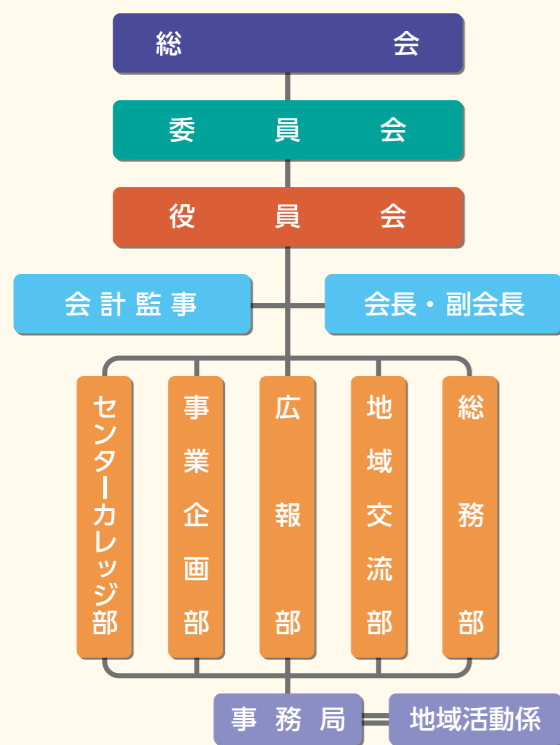
当協議会は、荻窪地域内の町会・自治会、商店会、小・中学校PTA、青少年育成委員会、民生委員などの団体推薦委員と公募委員を合わせて38名以内のボランティアで構成され、住民自治のもとに地域住民の相互の交流と活動の拡大を図り、地域の豊かなまちづくりを進めています。

委員の任期は、1期2年で2期を限度として現在約30名の委員が会長、副会長、会計監事、総務部、地域交流部、事業企画部、センターカレッジ部、広報部に分かれて活動しています。

会の活動内容は、各種学級講座・講演会の開催、他団体との協働事業の企画・運営、まつり、アート展などの集団事業の開催、広報紙の発行・ホームページの運営など地域のコミュニティ形成に必要な事業を行っています。

活動は「荻窪地域区民センター」及び「本天沼区民集会所」を中心に行っています。

荻窪地域区民センター協議会の運営組織図



20期・21期委員の構成

役職・所属	氏名	参加区分
会長	中澤 一郎 ※	荻窪/地域団体町会
副会長	齋藤 昭雄 ※	高井戸東/地域住民
	松井 和男 ※	荻窪/地域団体町会
会計監事	竹内すみ代 ※	荻窪/地域団体町会
	加藤 俊也	荻窪/地域住民
総務部	◎石川まり子 ※	今川/地域住民
	○鈴木 葉子 ※	宮前/地域団体町会
	矢島 正信	天沼/地域住民
	中田あつ子	荻窪/地域団体町会
地域交流部	◎平木 協夫 ※	南荻窪/地域住民
	○西森多美子 ※	天沼/地域団体町会
	柴田 光枝 ※	桃井/地域高齢者団体
	加藤 美子 ※	上荻/地域住民
	宇田川 康 ※	荻窪/地域団体町会
	丹羽 健雄	宮前/地域住民
	佐野 洋子	荻窪/地域住民
事業企画部	伊藤 節子	南荻窪/地域団体町会
	◎牧 三千夫 ※	荻窪/地域住民
	○上池 敏子 ※	本天沼/地域住民
	松井 和男 ※	荻窪/地域団体町会
	萩原 伸一	荻窪/地域住民
	染谷 貞夫	天沼/地域住民
	牧絵 正明	荻窪/地域住民
センターカレッジ部	松崎茂一郎	宮前/地域団体ケア24
	◎武藤 由美 ※	荻窪/専門委員民生委員
	檜枝光太郎	荻窪/地域団体町会
	多田 哲雄	本天沼/地域住民
広報部	南 秀郎	上荻/地域住民
	◎内藤まゆみ ※	南荻窪/地域住民
	○齋藤 昭雄 ※	高井戸東/地域住民
	石井 徹	荻窪/地域住民
事務局	横尾 耕一	荻窪/地域住民
	天海 和彦	—
事務局職員	榊田 薫	—
	広谷 光紗	—
	生駒モトミ	—
地域活動係	中村 剛	—
	惣田美和子	—

◎部長、○副部長、※20期

荻窪地域区民センター協議会40年のあゆみ

年	月	荻窪地域区民センター協議会の出来事
昭和53年	1978	10月 「荻窪地域区民センター運営協議会」設置
		2月 センター報「荻窪地域区民センター報」創刊(昭和59年4月より「わたしのおぎくぼ」)
		3月 杉並区内で初の区民センター誕生
昭和54年	1979	4月 第1回運営協議会総会
		6月 「棟方志功展」
		10月 第1回「文化祭」(来館者1,000人)
		1月 第1回「書道展」
昭和55年	1980	3月 第1回「おぎくぼセンターまつり」
		6月 第1回「美術展」"区内在住故人有名美術家展"
		1月 第2回「書初展」(「書道展」名称変更)
昭和56年	1981	3月 第1回「地域懇談会」
		4月 センター報「荻窪地域区民センター報」が「わたしのおぎくぼ」に名称・ロゴ変更
昭和59年	1984	4月 区民センター運営協議会の運営管理が住民に委託
昭和62年	1987	4月 第1回5館体育まつり(会場:高井戸地域区民センター)
昭和63年	1988	第1回寿昼食会
		7月 「荻窪地域区民センター運営協議会」が「荻窪地域集会所」に改称
平成4年	1992	11月 「本天沼区民集会所」開館
		11月 第1回「本天沼区民集会所まつり」
平成5年	1993	9月 設立20周年記念講演開催
		11月 設立20周年祝賀会開催
平成10年	1998	7月 「おぎくぼ7月祭」の名称を「おぎくぼセンター祭」に変更
		10月 「本天沼区民集会所」開設10周年
平成14年	2002	3月 「美術展」を「アート展」に変更、第24回「アート展」開催
		12月 「荻窪地域集会所」ホームページ開設
平成15年	2003	5~8月 「荻窪地域区民センター」館内大規模改修で「荻窪会議室」へ一時移転
		3~4月 「荻窪地域区民センター」設立30周年
平成16年	2004	2月 設立30周年記念講演会、コンサート開催
		3月 設立30周年記念式典開催
		9月 協働事業第1回「防災フォーラム」を「西荻地域区民センター協議会」と共同開催
平成18年	2006	4月 「荻窪地域集会所」を「荻窪地域区民センター協議会」に改称
		10月 「荻窪音楽祭」に「地域ふれあいマチネコンサート」自主企画で参加
平成20年	2008	1月 「キューバ大使」講演会
		2月 第37回「アート展」特別展示「恩地孝四郎」作品展
		2月 講演会「荻外荘とまちづくり」
		6月 広報紙「わたしのおぎくぼ」域内5小学校全児童へ配布開始
平成21年	2009	6月 「荻窪の記憶」講演シリーズ開始
		2月 第38回「アート展」特別展示「棟方志功」作品展
平成22年	2010	
		4月 「荻窪音楽祭」に「地域ふれあいマチネコンサート」自主企画で参加
平成26年	2014	
		10月 「荻窪音楽祭」に「地域ふれあいマチネコンサート」自主企画で参加
平成28年	2016	
		1月 「キューバ大使」講演会
		2月 第37回「アート展」特別展示「恩地孝四郎」作品展
		2月 講演会「荻外荘とまちづくり」
平成29年	2017	
		6月 広報紙「わたしのおぎくぼ」域内5小学校全児童へ配布開始
		6月 「荻窪の記憶」講演シリーズ開始
		2月 第38回「アート展」特別展示「棟方志功」作品展
平成29年	2017	
		5月 平成29年度定期総会
		5月 元駐ウズベキスタン大使講演会
		7月 第39回「おぎくぼセンター祭」
		9月 第9回「防災フォーラム2017」(会場:荻窪地域区民センター)
		10月 第25回「本天沼集会所まつり」
		11月 「地域ふれあいマチネコンサート」(「荻窪音楽祭」)
		12月 平成29年度地域懇談会
		2月 第39回「アート展」特別展示「神津港人」作品展
		3~4月 「荻窪地域区民センター」設立40周年
平成30年	2018	
		5月 平成30年度定期総会
		6月 元駐スウェーデン大使講演会
		6月 第1回「さいえんす縁日」
		7月 第40回「おぎくぼセンター祭」
		10月 第26回「本天沼集会所まつり」
		7~11月 40周年記念「荻窪の記憶」を伝える道の愛称募集
		11月 「地域ふれあいマチネコンサート」(「荻窪音楽祭」)
	12月 第10回「防災フォーラム2018」(会場:西荻地域区民センター)	
平成31年	2019	
		12月 平成30年度地域懇談会
		1月 新春経済講座
平成31年	2019	
		2月 第40回「40周年記念アート展」特別展示「田河水泡」作品展
		3月 設立40周年記念講演会、記念式典、祝賀会、コンサート(杉並公会堂小ホール)開催

2年間のあゆみ(2017年4月~2019年3月)

平成29年	2017	5月	平成29年度定期総会
		5月	元駐ウズベキスタン大使講演会
		7月	第39回「おぎくぼセンター祭」
		9月	第9回「防災フォーラム2017」(会場:荻窪地域区民センター)
		10月	第25回「本天沼集会所まつり」
		11月	「地域ふれあいマチネコンサート」(「荻窪音楽祭」)
		12月	平成29年度地域懇談会
		2月	第39回「アート展」特別展示「神津港人」作品展
		3~4月	「荻窪地域区民センター」設立40周年
		平成30年	2018
6月	元駐スウェーデン大使講演会		
6月	第1回「さいえんす縁日」		
7月	第40回「おぎくぼセンター祭」		
10月	第26回「本天沼集会所まつり」		
7~11月	40周年記念「荻窪の記憶」を伝える道の愛称募集		
11月	「地域ふれあいマチネコンサート」(「荻窪音楽祭」)		
12月	第10回「防災フォーラム2018」(会場:西荻地域区民センター)		
平成31年	2019	12月	平成30年度地域懇談会
		1月	新春経済講座
		2月	第40回「40周年記念アート展」特別展示「田河水泡」作品展
平成31年	2019	3月	設立40周年記念講演会、記念式典、祝賀会、コンサート(杉並公会堂小ホール)開催

2年間の委員活動 (平成29年4月～平成31年3月)

大使講演会

- ・元駐ウズベキスタン大使
- ・駐日ニカラグア大使
- ・元駐スウェーデン大使

(H29.5./H29.11./H30.6.)

さいえんす縁日

平成30年度から始めた、13種類の科学あそびを親子連れが参加して楽しめるイベント。

(H30.6.)

定期総会

当協議会の前年度の事業報告、決算報告と、新年度の事業計画案・予算案について審議。毎年5月に開催されます。

(H29.5./H30.5.)

おぎくぼセンター祭

「荻窪地域区民センター」を会場に、舞台、展示、楽しい体験する企画や模擬店、スタンプラリーなど、子どもから高齢者までに人気のイベント。

(H29.7./H30.7.)

講談鑑賞会

(H29.8./H30.8.)

委員館外研修

(H29.10./H30.11.)

委員館内研修

(H29.12./H30.3.)

ヴォイストレーニング

毎年実施の体験型人気講座。

(H29.8./H30.8.)

防災フォーラム

「西荻地域区民センター協議会」と共催の地域防災力の向上を目的とした体験型イベント。

(H29.9. 荻窪会場/H30.12. 西荻会場)

レクリエーションスポーツ

障害者団体連合会と共催でダーツ、吹き矢、ポッチャ等で障害のある人達も一緒に楽しみました。

(H29.6./H30.6.)

講談出前授業

毎年小学校持ち回りで、「神田山縁」師匠の講談出前授業で子ども達に人気のイベント。

(H29.5.天沼小学校/
H30.6.沓掛小学校)

地域懇談会

(H30.3./H30.12.)

設立40周年記念行事

- ・「40周年記念講演会」
- ・「40周年記念式典」
- ・「40周年記念コンサート」

(H31.3.)



新春経済講演会

(H30.3./H31.1.)

アート展

区民の皆さんの多彩な作品と併せて、荻窪ゆかりの芸術家を取り上げ、平成29年度は洋画家「神津港人」の作品を展示、平成30年度は「田河水泡展～「のらくろ」の作者の荻窪時代」を開催しました。

(H30.2./H31.2.)

野外体験講座

新しい試みとして、センターの外で講座を開き、子どもたちが直接自然に触れる機会をつくりました。
「井の頭池の生き物たち観察」
「井の頭池の渡り鳥観察」

(H30.11./H31.2.)

地域ふれあいマチネコンサート

「荻窪音楽祭」の一環として開催している「地域ふれあいマチネコンサート」は、本格的な雰囲気づくりに力を入れています。

(H29.11./H30.11.)

荻窪寄席

毎年、年末恒例の字幕付き「荻窪寄席」は、「金原亭馬玉」師匠の落語と「翁家和助」師匠の太神楽曲芸の名人芸で来場者の皆さんを楽しませ、大変好評なイベント。
平成30年度は会場を「松溪中学校アリーナ」で開催し、今までより多くの人が参加し、好評でした。

(H29.12./H30.12.)

荻窪の記憶シリーズ講座

明治から大正の初めにかけて別荘の適地として見出された荻窪は、関東大震災後、文化人を含む多彩な人々が暮らす緑豊かな郊外住宅地に発展しました。そんな地域の歴史を掘り起こし、後世に伝えるため、地元の歴史に光を当てた「荻窪の記憶」。6回の講座と都合4回の展示を開催。

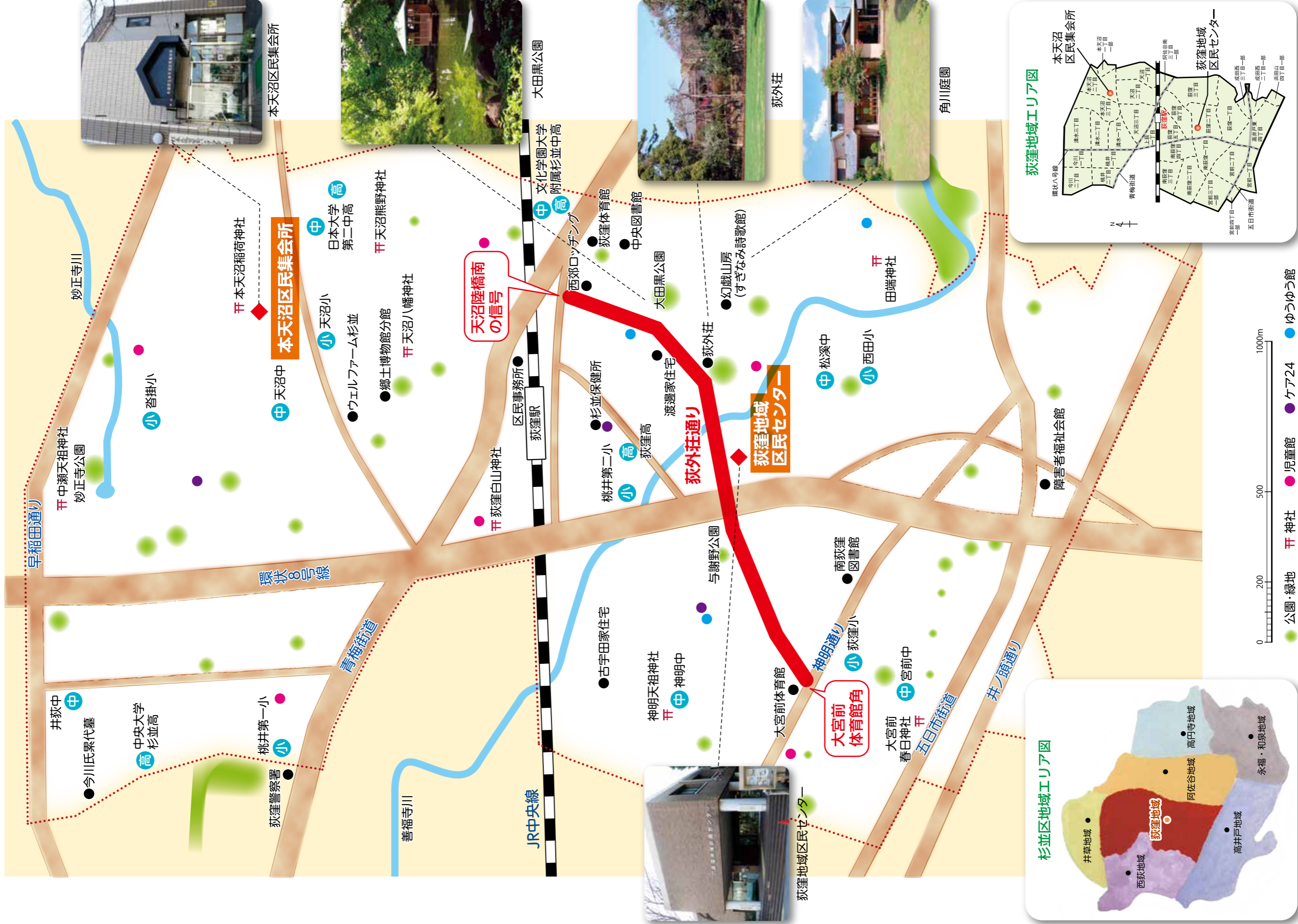
(H29/H30)



荻窪地域区民センター

本天沼区民集会所

狹窪地域区民センター・エリアマップ



地域交流部

地域交流部は文字どおり地域の人々がふれ合い、交流できる場を設け、共に楽しむお手伝いをしています。各種イベントを企画・運営、地域の皆様が日頃より練習、努力してきた成果を「おぎくぼセンター祭」「本天沼集会所まつり」「アート展」などに出演・作品展示していただいています。協議会委員全員と一緒に創り上げている地域参加の大事業です。



後列左から佐野、丹羽、伊藤、加藤(美)
前列左から柴田、西森、平木、宇田川

親子で参加イベント・発表の場づくり

地域交流部は地域の皆さんに日頃の文化・創作活動などの成果を発表していただき、共に楽しみつつ交流する場づくりをしています。

主なものは、7月の「おぎくぼセンター祭」、10月の「本天沼集会所まつり」、2月の「アート展」です。

「センター祭」では、親子で楽しんでいただけるよう工夫をしました。子どもたちの出演、展示、デモンストレーションしたりする企画を多く取り入れました。近隣の小中学生の合唱や吹奏楽演奏、「杉並工業高校」の鉄道模型運転、「都立農芸高校」の手作りジャムも好評でした。



「アート展」では、区民の皆さんの多彩な作品と併せて、荻窪ゆかりの芸術家を取り上げ、平成29年度は洋画家「神津港人」の作品を展示、平成30年度は『田河水泡展～「のらくろ」の作者の荻窪時代』を開催しました。鑑賞した多くの人から貴重な機会だったと



喜ばれました。

杉並区障害者団体連合会と共催している「レクリエーションスポーツ」では、企画全体を再構築し、ダーツ、吹き矢、ポッチャを障害のある人達と一緒に楽しんでいただきました。

「荻窪音楽祭」の一環として開催している「地域ふれあいマチネコンサート」では、本格的な雰囲気づくりに力を入れています。30年度は「和洋の古典と新たなコラボレーション」をテーマに、琵琶とヴァイオリン、ピアノの共演というプログラムを試み、好評でした。

こうしたイベントで地域の皆さんと交流するたびに、皆さんが大変楽しみにしていらっしゃる事が伝わってきます。



平成29年度・平成30年度行事一覧

■おぎくぼセンター祭

回数	開催年月日	出演・展示	来館者数
第39回	平成29年7月8日・9日	・舞 台：パトントワリング、桃二小合唱合奏、松溪中吹奏楽、和太鼓、荻小ソーランなど計16グループ ・体 験：鉄道模型運転、バルーンアート、子供美術鑑賞教室、オリジナル缶バッジ、スタンプラリーなど各種 ・模擬店：冷やし白玉しるこ、綿あめ、いなり寿司、パン、ソフトドリンクなど	1,850人
第40回	平成30年7月21日・22日	・南伊豆町水産物販売・小千谷市農産物販売、花木販売、包丁研ぎなど	1,950人

■本天沼集会所まつり

回数	開催年月日	出演・展示	来館者数
第25回	平成29年10月1日	・体験型企画を新規導入：フラワーアレンジメント、折り紙、押し花と缶バッジコラボ、オリジナル缶バッジ作りなど	690人
第26回	平成30年10月14日	・模擬店：地元商店のコロケ、ドーナツ、おにぎり、団子、綿あめ、ソフトドリンクなど	550人

■アート展

回数	開催年月日	出演・展示	来館者数
第39回	平成30年2月24日・25日	・出展総数1,000点と7館唯一の大規模アート展。 ・杉並区在住の個人/グループ作品を募集し、発表の場を提供。 ・協議会の企画の“特別展示”では荻窪ゆかりの画家などを取り上げて紹介。 ・アートな体験コーナー<バルーンアート><オリジナル缶バッジづくり><フェイスペインティング><似顔絵>の新設。	650人
第40回	平成31年2月9日・10日		600人

■協働事業：①レクリエーションスポーツ

開催年月日	イベント	来館者数
平成29年6月11日	・新しい団体を得て、企画全体を再構築。 ・競技種目では「ポッチャ」を導入し、「ダーツ」、「吹き矢」と共に楽しんでもらった。	55人
平成30年6月10日	・握力/血管年齢などの「健康測定」も併せて実施。	42人

■協働事業：②地域ふれあいマチネコンサート

開催年月日	イベント	来館者数
平成29年11月11日	協議会自主企画による「荻窪音楽祭」と連動した催し。クラシック音楽の優れた演奏を聴いていただく催し。	140人
平成30年11月10日	平成30年度は協議会設立40周年記念コンサートを予定しているためコンパクトにしたが、質の面では高い評価を得た。	90人

■地域交流

開催年月日	イベント
平成29年12月10日	川南共栄会の餅つき大会支援

事業企画部

事業企画部の仕事は、魅力的な講座を企画し、円滑に運営することにあります。では、魅力的な講座とは何でしょう。それは、知ること、表現すること、体を動かすことなどの面白さ、楽しさを提供できる講座だと思っています。三本の柱から、この2年を振り返ってみましょう。



左から松崎、染谷、松井、上池、萩原、牧絵、牧(右上)

《知る》地元の歴史に光を当てた「荻窪の記憶」シリーズや毎年8月に開催している戦争に関する講座が多数の受講者を集めたのは、ほかではなかなか聞けないテーマを扱ったからだと思われます。今後も、私たちならではの講座を追及していきたいと考えています。

《表現する》俳句、工作、朗読、読書会などの講座は、受講者に自分を表現する場を提供し、互いの交流を生みます。講座の性格から参加者の数は限られますが、今後も大切にしていきたい柱の一つです。

《運動》ラジオ体操、腰痛スッキリ体操、リズム・アンド・ストレッチなど身体を動かす講座は、健康に関心の高い高齢者に人気があり、リピーターも少なくありません。その人気を支えているのは、明るく元気のいいインストラクターです。

新しい試みとしては、センターの外で講座を開き、子供たちが直接自然に触れる機会をつくった「自分で捕って観察しよう 井の頭池の生き物たち」があります。今後の挑戦をお楽しみに。



井の頭の生き物たち

「荻窪の記憶」展

明治から大正の初めにかけて別荘の適地として見出された荻窪は、関東大震災後、文化人を含む多彩な人々が暮らす緑豊かな郊外住宅地に発展しました。そんな地域の歴史を掘り起こし、後世に伝えるため、協議会では「荻窪の記憶」プロジェクトを立ち上げ、その成果を都合4回にわたるパネル展示で紹介しました。

「荻窪の記憶～大田黒公園周辺100年の歴史」

- 地域区民センター・ロビー

平成29年11月1日～12月10日

- 杉並区立郷土博物館分館(区民参加型展示)

平成30年3月17日～6月17日

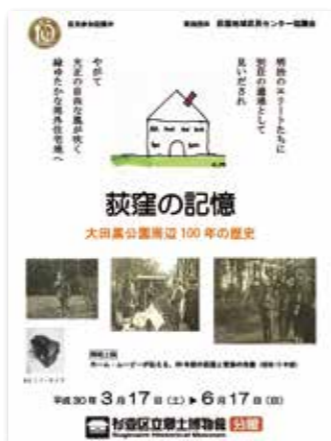
「荻窪の記憶Ⅱ～天沼100年の歴史」

- 杉並区立郷土博物館分館(区民参加型展示)

平成31年1月12日～3月10日

- 荻窪地域区民センター・ロビー

平成31年3月13日～5月6日



講座内容一覧

■平成29年度実施学級講座 平成29年4月1日～平成30年3月31日

	講座名	講師	実施回数	延べ参加人数
4月	健康スポーツ吹き矢	牧野 繁男	4	75
	一人芝居「紅花物語」	中野 誠也	1	30
5月	荻窪の記憶-4 建築は語る	稲葉 和也	1	19
	初夏の手作りハンギングバスケット	吉野 華恵	1	19
5・6月	楽しいラジオ体操	銚立 和子	4	84
6月	芭蕉の紀行文を鑑賞する	林 誠司	4	242
7月	荻窪ゆかりの文人の作品を読む	生田 美秋	4	62
8月	ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング	安藤 操	4	161
	8月15日 終戦への道すじ	山田 朗	1	44
	親子で学ぶ昆虫の世界	佐々木愛子	1	14
10月	いきいき朗読教室	岡 摂子	4	82
	ふれあいベビーヨガ	大坪三保子	1	28
11月	背骨を整えよう！腰痛スッキリ体操	高橋 晃史	2	66
	荻窪の記憶-5 井荻村の大英断	高見沢邦郎	1	53
	荻窪の記憶-6 西の鎌倉・東の荻窪	寺田 史郎	1	69
	秋を楽しむ木の実工作教室	山室 京子	1	22
2月	ポールウォーキングを楽しもう	小沢 修一	2	34
	パパ、ママご本読んで	北川美絵子	1	22
3月	リズム&ストレッチ	後藤 鈴香	4	98
	自分の一句を残しましょう	古矢 敏光	4	69
	どうなる2018年度の景気と株価	松場 清志	1	29
	つくって飛ばそうインドアプレーン	細井 隆輝	1	15
	南極一越冬隊員の生活とオーロラ観測	源 泰拓	1	25

■平成29年度展示事業

29年11月～12月	荻窪の記憶①「大田黒公園周辺100年の歴史」	荻窪地域区民センター
30年3月～5月	同上	郷土博物館分館

■平成30年度実施学級講座 平成30年4月1日～平成31年3月31日

	講座名	講師	実施回数	延べ参加人数
4月	もっと知りたい！台湾	梶山 憲一	1	40
5・6月	楽しいラジオ体操	銚立 和子	4	89
6月	初夏の寄せ植えを楽しみませんか	吉野 華恵	1	24
	体験-シーボーンアート	本間 清	1	12
7月	現代の女性作家の短編を読む	生田 美秋	4	69
7・8月	ロシア・サントペテルブルク夏の旅	杉山 春子	2	71
8月	ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング	安藤 操	4	147
	近衛文麿-その光と影	山田 朗	1	64
9・10月	じっくりと読む、松尾芭蕉「おくのほそ道」	林 誠司	4	235
10月	いきいき朗読教室	岡 摂子	4	69
	迫りくる脅威-首都圏を襲う大地震への備え	伊藤 和明	1	45
	ポールウォーキングを楽しもう	小沢 修一	2	30
11月	自分の一句を残しましょう	野崎 海芋	4	32
	自分で捕って観察しよう-井之頭池の生き物たち	金原 功	1	57
	秋を楽しむ木の実工作教室	山室 京子	1	25
11・12月	背骨を整えよう！腰痛スッキリ体操	高橋 晃史	3	76
12月	リズム&ストレッチ	後藤 鈴香	2	42
1月	新春経済講演会-どうなる今年の景気と株価	松場 清志	1	35
2月	井の頭池の渡り鳥を観察しよう	金原 功	1	
3月	リズム&ストレッチ	後藤 鈴香	2	

■平成30年度展示事業

31年1月～3月	荻窪の記憶Ⅱ「天沼100年の歴史」	郷土博物館分館
31年3月～5月	同上	荻窪地域区民センター

センターカレッジ部

センターカレッジ部は「センター」の「カレッジ」(大学)という意味で、他の区民センターにない荻窪独自の部です。大使の講演会、一流プロの落語・曲芸や講談の古典芸能、音楽コンサート、「さいえんす緑日」と「防災フォーラム」のイベントなどを企画運営しています。



左から南、多田、檜枝、武藤

今期で特筆すべきことの一つは、平成30年に新たに実施した「さいえんす緑日」でした。13種類の科学あそびが楽しめるイベントで、約700人の親子連れが参加して大盛況でした。普段のセンターとは違い、子供たちの楽しそうな声であふれていました。中大杉並高校物理部のホーバークラフト体験が一番人気でした。今後もセンターの大切なイベントとして続けます。



さいえんす緑日

もう一つは、年末恒例の字幕付き「荻窪寄席」の会場を、近隣の松溪中学校アリーナで開催したことです。広い会場が利用できたので、事前申し込みなしの自由参加で実施できました。約230名の参加者が「金原亭馬玉」師匠の落語と「翁家和助」師匠の太神楽曲芸の名人芸を楽しみました。



荻窪寄席

テノール歌手の「吉田賢二郎のおしゃべりコンサート」も大盛況となりました。普段あまりなじみのない本格的なテノール歌手の歌と楽しいおしゃべりのひと時を過ごしました。



おしゃべりコンサート

「神田山緑」師匠の講談出前授業も沓掛小学校で行われ、3年生以上の400名の生徒が参加しました。講談の名乗りの体験と耳なし芳一のさわりを生徒たちに味わってもらいました。



講談出前授業(沓掛小)

講演・催し物内容一覧

平成29年4月1日～平成30年3月31日

◎協働事業

開催月日	講演・催し物名	講師・演者	協働先	参加人数
5月20日	◎講談出前授業	神田 山緑	天沼小学校	30
5月27日	元駐ウズベキスタン大使講演会	加藤 文彦		40
8月26日	◎講談鑑賞会	神田 山緑	荻窪警察署	46
9月10日	◎防災フォーラム(荻窪)	佐藤 知巳	西荻地区区民センター協議会	120
11月25日	駐日ニカラグア大使講演会	サウル・アラナ		42
12月10日	◎荻窪寄席	金原亭馬玉 翁家 和助	杉並区中途失聴・難聴者の会	85

平成30年4月1日～平成31年3月31日

◎協働事業

開催月日	講演・催し物名	講師・演者	協働先	参加人数
4月14日	◎吉田賢二郎のおしゃべりコンサート	吉田賢二郎 吉田 寛子	荻窪警察署	66
6月2日	元駐スウェーデン大使講演会	森元 誠二		68
6月3日	◎さいえんす緑日		サイエンスホッパーズ だがしや楽校サイエンスくらぶ	700
6月8日	◎講談出前授業	神田 山緑	沓掛小学校	400
8月25日	◎講談鑑賞会	神田 山緑	高井戸警察署	53
12月2日	◎防災フォーラム(西荻)	村井 信二	西荻地区区民センター協議会	521
12月9日	◎荻窪寄席	金原亭馬玉 翁家 和助	杉並区中途失聴・難聴者の会 (会場:松溪中学校アリーナ)	232

* 募集定員

広報部

広報部は、当センターで行われる行事や各種の講座に関する情報をお知らせすることです。また、地域や住民の皆さんに関する情報を収集して、皆さんにお知らせすることも大切と考えています。具体的には、広報紙『わたしのおぎくぼ』等の編集・発行、ホームページの運営・管理をしています。広報部員は3名から4名で、毎週火曜日の午前中に活動しています。



左から横尾、齋藤、内藤、石井

■広報紙『わたしのおぎくぼ』の発行

『わたしのおぎくぼ』(A4判4頁)を、2か月に1度、年6回発行しています。センター祭を初めとするイベントや各種講座の紹介・報告が主な内容ですが、そのほかに自主企画として、地域の文化や人物をとりあげるコーナーも設けています。この2年間に「この街にこの人あり」「町名の由来と今」をシリーズとして掲載しました。

配布は、町会の回覧板や区の施設の他、人が立ち寄ることが多い医院や店舗などに置いていただいています。また、2016年から小学校5校の全家庭に配布していましたが、2018年からは中学校4校にも配布することになり、発行部数も10,000部へと増やしました。

今後も、多くの方々に読んでいただける広報紙をめざして、皆さんからのご意見を伺っていきたくと考えています。

■ホームページの運営・管理

HPは、協議会の主催するイベントや、講演・講座を掲載しています。広報紙『わたしのおぎくぼ』もダウンロードしてご覧いただけます。より一層の使い易さ、内容の充実を図るため改善を進めていきましたが、2017年にリニューアルしました。今後も改善を図っていきます。是非HPにアクセスしてみてください。



【平成29年度】

【平成30年度】

総務部

総務部は協議会活動が円滑に運営されるよう各事業担当部や行政、事務局との連絡調整を行いながら、事業遂行に伴う経理及び諸々の総務事務を担当します。また、総会・役員会・委員会の運営、さらには、地域団体・利用者との交流を深める懇談会の企画、委員相互の親睦や知見を広めるための研修など、他部門に属さない業務を担当し協議会活動を支えています。



左から中田、矢島、中澤会長、鈴木、石川

■総会

定期総会は5月に開催され、前年度の事業報告、決算報告と、新年度の事業計画案・予算案について審議します。
平成29年度：平成29年5月12日
平成30年度：平成30年5月11日



■役員会・委員会

- ・役員会は毎月第3火曜日に開催され、委員会に提出する案件について検討審議
- ・委員会は毎月最終火曜日に委員全員と行政、事務局が参加して開かれ、協議会の事業計画とその実行、運営体制や予算執行などに関する各種案件について審議

■会計監査

- ・平成29年度、平成30年度
4月：前年度会計監査
9月：上半期会計監査

■地域懇談会

- ・平成30年3月7日
協議会の活動(お祭り系イベント、学級講座、催し)について参加者によるグループ懇談・提言
- ・平成30年12月15日
協議会委員から体験を通しての報告と「協議会の存在感を上げるために」を議題に参加者によるグループ懇談



■協働事業

- ・平成29年9月9・10日
「防災フォーラム2017」を西荻地域区民センターと協働で荻窪地域区民センターにて開催
テーマ：「今、直下型地震が発生したらあなたは
どうしますか？」
基調講演：「新潟県中越地震の災害対応の教訓」



- ・平成30年12月2日
「防災フォーラム2018」を西荻地域区民センターにおいて協働で開催

■館外研修

- ・平成29年10月20日
「筑波宇宙センター」と「シャトーカミヤ」の旅
- ・平成30年11月20日
JR目白駅周辺ウォーキング(細川庭園・永青文庫等)



■館内研修

- ・平成29年12月5日
クリーン大作戦：地域区民センター周辺の歩道の清掃実施
- ・平成30年3月13日
体育室にて救急救命研修

会計監事

会計監事は、定員2名で各期の委員から1名ずつ選任されています。

当協議会の活動は、杉並区からの補助金と、講座などの参加費やセンター祭の模擬店の売上などの自主財源の二つの資金で行われています。いずれも、地域の皆さんに出していただいているお金なので、どういう活動に使ったのかが地域の皆さんに分かるように、予算や決算を公開しています。こうしたお金の、間違いや不正がないように、そのチェックを行うことが会計監事の役割です。活動の基本を決める毎月の役員会と委員会にも出席しています。



左から加藤(俊)、竹内

こうした役割から、会計監事は部会の部員を兼ねて活動することはできませんが、センター祭などのイベントには参加して、一緒に、綿あめや飲み物などの販売を担当したりしています。

事務局・地域活動係

地域活動係は、区内7つの地域に地域区民センター協議会の事務局に関すること、地域活動の推進に関すること、地域区民センター等の施設管理に関すること、小規模災害復旧対策事務に関すること、などを業務内容として配置されています。



後列左から中村、惣田、生駒
前列左から榎田、天海、広谷

荻窪地域活動係は荻窪地区町会連合会と天沼地区町会連合会の事務局として町会活動やさまざまな地域の活動のサポートを行っています。

また、区では7つの地域に担当の副参事を配置し、地域活動係とともに地域のさまざまな課題に取り組んでいます。

地域を担当する副参事は地域区民センター協議会の事務局長を兼務し、地域活動係に配属され

ている職員とともに、地域区民センター協議会の活動が円滑に進むよう、経理事務や協議会物品の貸し出し、地域区民センター協議会の事業に参加される方への対応など、さまざまなサポートを行っています。

住んでみたい、住んでよかった、住み続けたい、と思っただけの荻窪地域をめざして、今後も活動してまいります。

委員OB会

OB会は協議会活動を卒業した委員で組織しています。協議会活動のお手伝いと、OB会員同士の親睦を図るのが目的です。会員の高齢化が課題ですが、“若手”を中心にセンターまつりなど3大イベントでの「OBカフェ」や会員懇親会を実施しています。

OBカフェ

すっかりOB会の伝統イベントとして定着しました。開店するのは「おぎくぼセンター祭」(7月)、「本天沼集会所まつり」(10月)、「アート展」(2月)の年3回。来場者を淹れたてのコーヒー(夏はアイスコーヒーも)でもてなします。1杯50円はお得。平成29年、30年の両年度は19期OB6人がシフトを組んで“マスター”を務めました。

カフェは来場者サービスと同時に協議会の現役委員とOBとの交流の場でもあります。近況報告や活動の課題についての意見交換なども行われます。センター祭のカフェは談話コーナーの一画で、舞台のパフォーマンスが見られる特等席です。



懇親会

OB会の懇親会は貸し切りバスによるバス旅行が慣例でしたが、平成29年、30年の両年度は荻窪



界隈のカフェレストランでの懇親パーティーとしました。会員の皆さんが高齢化し、遠出が厳しいことなどが理由です。現役委員の皆さんにも参加してもらい、交流・歓談を楽しみました。

2回とも生バンドの演奏を入れ、参加者に歌ってもらう場面も。懇親会のために…と急ぎょ編成したアマチュアの弦楽四重奏団(女性)の演奏は圧巻でした。企画した委員がメンバーの楽団もちゃっかりと出演しました。



幹事と総会

平成29年度、30年度の幹事は15期～19期の14人が務めました。“実働部隊”は19期の6人です。

会則に従って2年ごとに総会を開催して役員を選出すると同時に、予算・決算、活動報告・計画の承認を得ます。OB会会長は任期満了直後の協議会会長が務めます。

